

さまざまに姿を変えるモノから
生活の知恵や日本とのつながりを発見

MoNo 変身図鑑

第1回 バナナ

食べるだけがバナナじゃない。身の回りにあるこんなものからあんなものまで、実は意外なものにも大変身。その変身ぶりに注目!

日本人1人当
たりのバナナ
の年間消費量
は8.5kg!



【バナナ紙】

ハイチのバナナと和紙の技術から生まれたバナナ紙。写真はバナナ紙で作られた絵本「ミラクルバナナ」。売り上げは農民の収入源になり、環境にも優しい



紙

マニラ麻は繊維が長いので、麻布のほか和紙や紙幣の原料にもなっている。最近では、バナナの収穫後に切り倒され廃棄されていた葉や茎を有効利用したバナナ紙も非木材紙として注目を集めている



【紙幣】

日本の紙幣は4種類あるが、すべての原料にアバカバルブ(マニラ麻)が含まれている。ただし偽造防止のため、その比率は秘密とのこと

見本

市場には食用のバナナの花も並ぶ



バナナは色も形も多種多様。300種以上といわれるほど種類が多いバナナだが、日本に入ってくるのはジャイアントキャンベディッシュと呼ばれるバナナがほとんど。すつかりおなじみのフルーツだと思っていたが実はまだまだ奥は深い。バナナは糖分が多く甘い生食用のデザートバナナと、デンプンが多い料理用バナナに大別される。栽培種の多くはデザートバナナだが、東南アジアの国々では料理用バナナも一般的だ。春巻き

餅状にしたり。また、青く固いものはイモのように煮込み料理の具にするなど、熟し具合によって調理法を変えながら、さまざまなバリエーションで味わわれている。



バナナを焼いて焼き鳥風に食べる

大きな葉は衣食住に大活躍

市場で売られている葉の包装紙

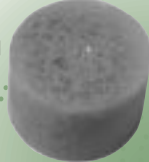


取柄協力、写真提供 / 吉田よし子

東南アジアの人々は、葉や茎、種子も無駄にはしない。巨大なバナナの葉は冷却効果があり、魚や肉野菜などを包む包装紙としての役割も果たしている。市場には包装用に野生バナナの葉を売っている店も出ているほどだ。高温多湿の気候ゆえ、ベッドシートやテーブルクロスとしても重宝されている。ほかに魚を包んで焼いたり、米を入れて蒸したり、用途は実にさまざま。原始バナナにひびきつらつらした種子は、子どもたちのビーズ遊びに使われることもあるという。バナナと同属のアバカはマニラ麻の原料として有名だが、昔は料理用バナナの葉や茎からも布を作っていたというから、用途の広さには驚かされる。

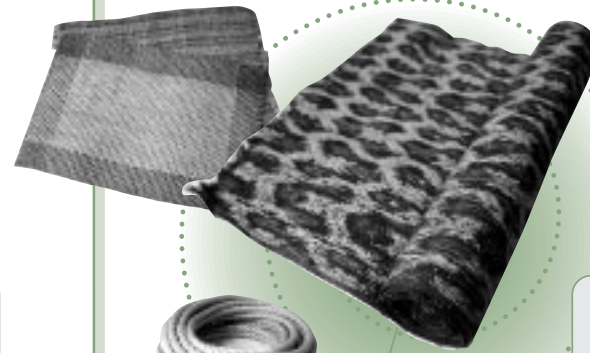
【せっけん】

バナナを使った数少ないコスメのひとつ「バハママムーン」。バナナジュースとヨーグルトがお肌を優しく洗い上げる
お問い合わせ:
【ラッシュェジャパン】
tel.0120-125-204



【ソファ】

バナナの葉を砕いて用いたインドネシア産のソファ。アメ色にいがされたバナナの葉の微妙な色合いが美しい
お問い合わせ:
【GRAN 青山ベルコモンズ店】
tel.03-3475-8042



【織物】

太めの繊維で織り上げたランチョンマットは、天然繊維のざっくりとした風合いが特徴。細くよった糸で織られた麻布は、生地にハリがあって独特の光沢を持つ

マニラ麻

バナナと同じバショウ科に属するアバカと呼ばれる植物の葉鞘から採られる繊維で作られる。主な生産地はフィリピンだが、合成繊維におされて生産量は減少している



【ロープ】

耐水性に優れていることから、かつては船舶用にも使われていた。日本綱引連盟公認のロープがマニラ麻だということは、意外に知られていない

家具・雑貨

アジアニストが人気を集めていることもあって、バナナの葉や茎を使った家具、雑貨を扱うショップが増えている。数こそ少ないが、コスメの世界でも活躍している

スナック&ドリンク

乾燥させたバナナの実からはドライバナナ、バナナバーなどのスナックが。また、ミルクやヨーグルト、豆乳などにバナナネクターを配合したドリンクも種類豊富だ

【ドリンク】

生乳にバナナネクターを加えたドリンク。牛乳やヨーグルトはバナナと相性がよく、各社からさまざまな商品が出ている



【バナナチップス】

塩味から砂糖かけまでいろいろの味があるバナナチップス。写真はウガンダの大地で育ったバナナを天日で干したドライバナナ
お問い合わせ:【ぐらすーつ】
tel.03-6808-7995



【バナナリキュール】

沖縄産の完熟した島バナナをベースにしたリキュール「島バナナ」。バナナリキュールには果汁を使っているものほかに香料で香り付けしているものもある